

普及活動情勢報告（令和8年6月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

環境データを活用した高温対策！！ ～データ駆動型農業勉強会～



勉強会の様子

5月21日、農業改良普及課がデータ駆動型農業勉強会を開催し、管内のJA営農指導員と農業普及課職員の15名が参加しました。

農業改良普及課は、SAWACHIの基本的な操作方法と高温対策の取り組み事例を情報共有しました。また、資材メーカーより高温対策資材の紹介と使用事例について説明がありました。

参加者からは、外気導入装置の稼働時間や効果的な使用方法等たくさんの質問が出され、高温対策への理解が深まる有意義な会となりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して農家の収量・品質の向上に向けて取り組んでいきます。

見逃さない、広げない！ トマトキバガ対策 ～フルーツトマト部会現地検討会～



部会員に説明する
普及指導員

5月26日、JA高知県香美地区フルーツトマト部会が現地検討会を開催し、15名が参加しました。

農業改良普及課からは、トマトキバガの防除対策について説明をしました。

参加者からは「農薬が成虫に効きづらいと感じるが、効果的な防除方法はないか」「初期防除の重要性を知ることができた」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して病害虫防除の情報提供を行い、フルーツトマトの生産安定に向けて支援していきます。

今年の疑問・反省を次に活かしましょう ～赤岡北部集落営農組合 ニラ栽培講習～



説明する普及指導員（左）

5月26日、赤岡北部集落営農組合に対しニラの栽培講習を開催し、生産者6名が参加しました。

農業改良普及課は、ニラ栽培および農作業安全、熱中症対策について説明しました。また、ニラ栽培については、事前に相談のあった厳寒期のハウス管理と育苗について、説明と意見交換を行いました。

参加者からは「内張りと外張りの開ける順番はどうしているか？」「自分は開けるときに時間差をつけている」などの自身の体験談を含めて意見交換する姿がみられました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ニラの安定生産を支援します。

地域の農産物を知ろう！ ～シシトウの収穫体験～



一生懸命収穫する児童

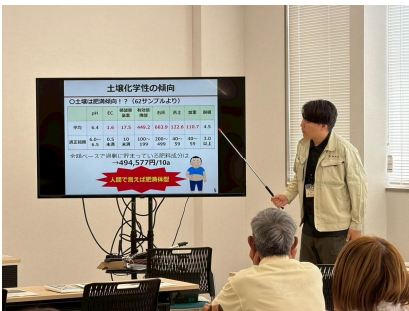
6月9日、J A高知県香美地区シシトウ部会が吉川小学校と赤岡小学校の児童28名を対象にシシトウの収穫体験を行いました。

農業改良普及課は、6月5日に行われた事前学習でシシトウの栽培過程や高知県がシシトウの生産量及び栽培面積が日本一であること等を説明しました。

児童からは「家でシシトウを育てる場合はどうしたらいいですか?」「おすすめの食べ方はありますか?」といった質問があり、関心の高まりが感じられました。

農業改良普及課は、今後も食育活動等を通じて、地域の農業への理解や地産地消につながる取組を支援していきます。

あなたの土壌は肥満傾向？ ～やっこねぎ部会栽培講習会～



説明する普及職員

6月9、11、12日、J A高知県香美地区やっこねぎ部会栽培講習会が地区内3カ所で開催され、生産者36名が参加しました。

農業改良普及課は、部会員60戸の土壌分析の結果から、土壌が引き起こす問題やその改善法を説明しました。また、過剰に肥料成分が蓄積している状態を人間に例えると肥満であると解説し、健康診断（土壌分析）や食事（肥料）の見直しを訴えかけました。

会終了後には、改善策として提案した肥料を購入する生産者が3名見られました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、安定生産に向けたやっこねぎ部会の土壌改善を支援していきます。

庭を生かした店づくりに向けて ～6次化アドバイザーによる経営ヒアリング～



アドバイザーによる
ヒアリングの様子

6月11日、イングリッシュガーデンハウスで6次産業化アドバイザーを招いた経営ヒアリングが開催されました。

農業改良普及課は、ヒアリングが円滑にできるように日程調整や現状把握を行いました。ヒアリングでは、冬の来客減少と庭管理の負担に対し、閑散期の休業による作業時間確保や加工品づくり、「年間カレンダー」の作成が提案されました。また、庭を活用した集客方法として、栽培教室やSNSの活用等が提示されました。

店側からは「まずはSNSによる集客を頑張りたい」との意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も年間カレンダーづくり等をサポートし、庭を生かした店づくりを支援していきます。